

● キャッシュ創出力強化に向けた構造改革の完遂

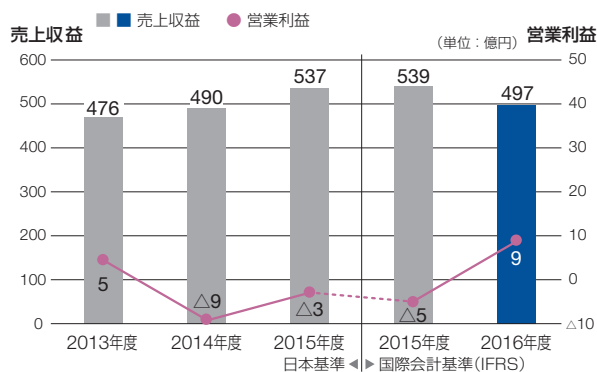
取締役 常務執行役員
ネットワーク・アンド・コンテンツ事業 統括

神谷 純



■ 2016年度の営業概況

売上収益／営業利益の推移



売上収益: 497億3千1百万円(前期比△7.7%)

前期に投入した通信カラオケ機器の新モデルの投入効果が一巡したことにより、減収となりました。

営業利益: 8億5千4百万円
(前期 営業損失 4億7千万円)

減収とはなったものの、経費削減などの取り組みの効果もあり、事業セグメント利益は増益となりました。営業利益については、収益力強化のための構造改革に伴う一時費用を計上した影響があるものの、前期に計上した固定資産などの減損損失がなくなったこともあり、大幅な損益改善となりました。

主要製品の紹介



業務用通信カラオケシステム

■ 事業の概要

〈ブラザーの強み〉

ブラザーの連結子会社であるエクシングは、業界最多の27.7万曲を搭載し、全サウンドに生音源を採用した業務用通信カラオケシステム「JOYSOUND MAX2」や「JOYSOUND 響」、1,000万人以上の会員数を誇る「うたスキ」[※]といったスマートフォンと連携した独自のサービスで高い評価を得ています。グループ会社のテイチクエンタテインメントやスタンダードとの連携により、川上(コンテンツ)から川下(店舗)まで総合音楽エンタテインメント企業として一気通貫した立体的な事業を展開しています。

※ エクシングが運営する通信カラオケ「JOYSOUND」と連携した会員制カラオケソーシャルメディア。

〈市場動向と事業戦略〉

- 営業利益最大化への挑戦
- 確実なキャッシュ創出に向けた投資の最適化

ピーク時から縮小を続けていたカラオケ人口・店舗数はここ数年微増傾向にあり、商品力の高い2モデルの拡販を軸に市場を活性化していきます。また、拡大するエルダー市場に向けて、人型ロボット「pepper」とカラオケや体操が楽しめるアプリを開発しました。さらに、PlayStation®VR向けに、VR空間でカラオケが楽しめるサービスを提供するなど、新たなプラットフォームへの展開を積極的に行い、他社との差別化を図るとともに、収益拡大を目指します。